

HAWAII

ハワイで透析



Medical Support

Hawaii



太平洋に浮かぶハワイは豊かな自然と一年を通して寒暖差のない穏やかな気候に恵まれています。そして、ハワイの人々が持つアロハ・スピリッツが訪れる人を笑顔でもてなし、幸せな気分にしてくれます。

また、ハワイには日本の文化も根付いており、文化や言葉、食事でもどこか懐かしい日本を感じることができる場所でもあります。

ハワイでのゆったり流れる時間の中で、心身ともに癒され、リフレッシュしていただきたいと思います。

メディカル・サポート・ハワイ 代表 古田ジム

Jimu Furuta



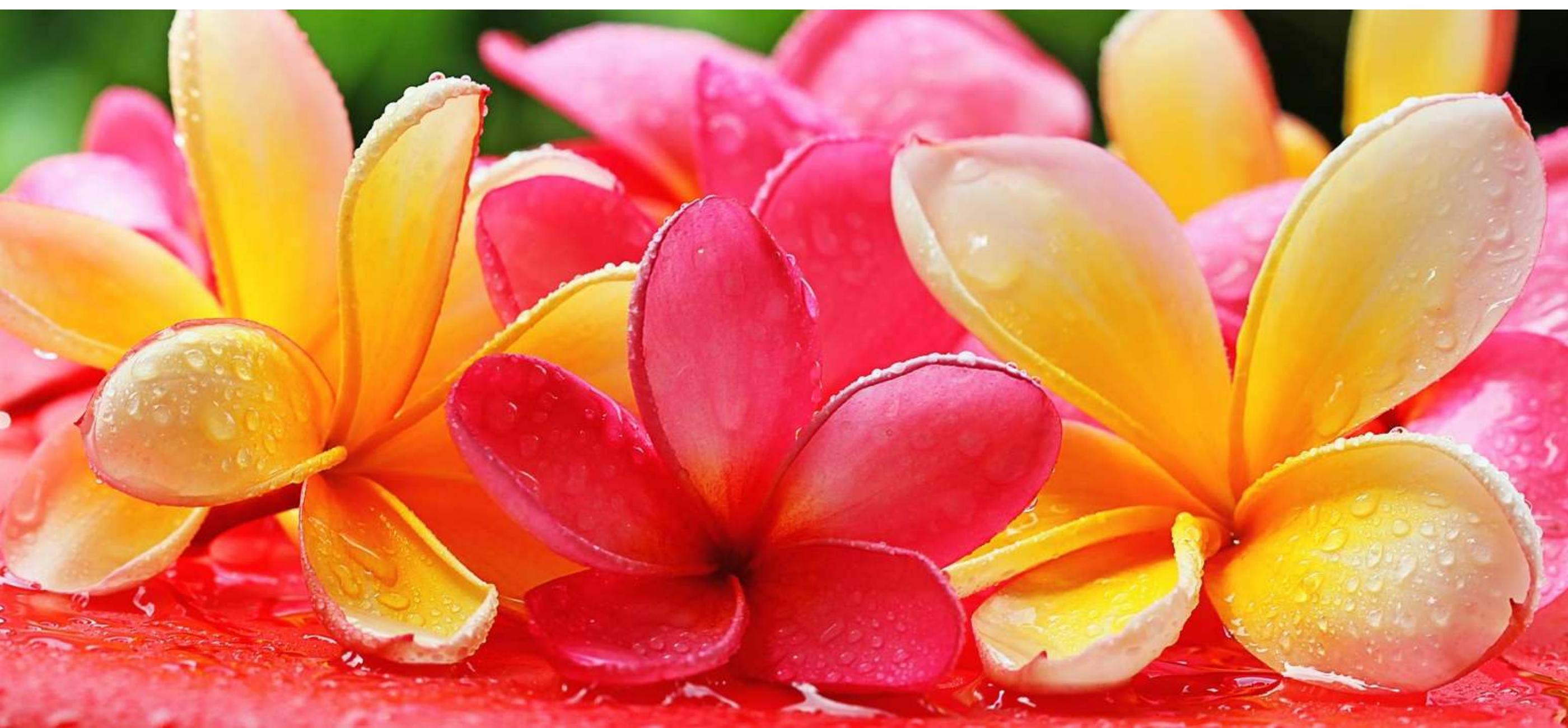
Medical Support Hawaii

ハワイには旅行者の人工透析を受け入れている病院があり、ハワイ滞在中に継続して透析治療を受けることができます。

ハワイの医療レベルや安全（清潔）レベルは、日本と変わらず、日本語を話す医療スタッフも働いていますので、海外旅行での臨時透析を考える上で、ハワイは最も適した海外旅行先です。

メディカル・サポート・ハワイでは、滞在中の人工透析の手配を行っております。
事前の予約から、ご帰国後の還付金の準備までトータルサポートをしています。

毎年の旅行や、結婚式の出席、中長期の滞在を透析を理由に諦めることが無いように、
安心してハワイでご滞在していただくことを目指しています。



USRC Kapahulu Dialysis

カパフル透析センター
750 Palani Ave, Honolulu, HI 96816

5 分

ワイキキから

23 床

透析ベッド数

朝 6 : 30
昼 11 : 30
夕 16 : 00

開始時間

ハワイにご滞在中に人工透析を受ける透析センターは、カパフル通りにあります。
ワイキキから車で5分ほどのところにある【U.S. RENAL Care KAPAHULU DIALYSIS】です。

この透析センターはハワイの現地患者様も通院されている一般的な規模の透析センターで、
ハワイだけでなく全米（グアムを含む）各地に多くの透析センターを展開しています。

日本語を話す事ができるスタッフが事務職&看護師と両方の部門に在籍し、多くの経験豊かな
看護師が治療にあたりますので、安心・安全にハワイでも日本と同じように透析治療を受ける
ことができます。（万が一の時に救急総合病院との連携が取られています。）

- 🌸 リクライニング式透析専用チェアー（フルフラット、ヒーター、マッサージ機能付）
- 🌸 個別 17 インチモニター（TV 放送、DVD 鑑賞可）
- 🌸 WiFi 無料利用可
- 🌸 感染者（B 型肝炎等）専用の透析室＜隔離室＞完備
- 🌸 血液透析以外の CAPD（腹膜透析）に必要な器具も提供

FEES（費用）

透析費用

\$650 / 回

（税込み）

透析 1 回当たり

弊社手数料

\$400

（税込み）

予約手配など

+

透析費用

< 費用 >

\$650/ 回（税込み）

約 81,250 円（\$1=125 円で計算）

※透析 1 回あたりの費用となります。

滞在中に 2 回受けられる場合は \$1,300。

< 費用に含まれるもの >

- ・血液透析治療費
- ・透析に必要な器具（針、ダイアライザー）
- ・透析中に投与される投薬等
- ・ハワイ側の担当医師の診察費

< 支払方法 >

透析治療費は、最初の透析日に直接透析施設にてお支払い頂きます。お支払いは現金（米ドル）又はクレジットカード（JCB,VISA,MASTER のみ）となります。

弊社費用

< 費用 >

\$400（税込み）

約 50,000 円（\$1=125 円）

※滞在中の手配に対する費用となります。

滞在中の透析回数に関わらず \$400。

< 費用に含まれるもの >

- ・透析の予約手配
 - ・施設までの送迎手配
- ※送迎費用は含まれておりません。
ドライバーに直接お支払い願います。

< 支払方法 >

仮予約の際に \$400 をクレジットカードにてお支払いいただきます。

※ハワイで受けた透析治療費は戻ります。詳細は「透析費用の還付」にてご案内しております。



お申込の流れ

事前準備

1. メディカルサポートハワイにお問合せください。
電話やメールにてご連絡いただきましたら、資料をお送りいたします。
2. ハワイ旅行が可能であるか、担当医に相談し、旅行の許可をいただいてください。
3. 旅行会社等で希望日程の航空券やホテルの空き状況を確認し、旅程を決めてください。
※この時点では、航空券、ホテルの手配はしないでください。透析の予約が取れない場合など、日程の変更が必要になります。航空券やホテルなど旅行に関わる変更料・キャンセル料が発生した場合でも弊社では責任を持つことはできません。
4. ハワイで透析をする日程を決めてください。
こちらは後にご案内するサンプルをご参考にしてください。

申込手続

5. 弊社のウェブサイトのフォームから申込みください。入力いただいた情報を基に申込書を作成し、メール添付にてお送りいたします。
内容を確認いただき、署名欄に署名後、メール添付または FAX にてご返送願います。
この際に弊社の手数料 \$400 をクレジットカードにてお支払い願います。
6. 申込金のお支払いを確認させていただいた後に、弊社にて透析センターに仮予約を入れます。仮予約が確定しましたら連絡させていただきますので、正式に旅行の手配をしてください。
7. 日本の担当医に記入していただく、医療情報に関する書類を送付いたしますので、担当医にご対応を依頼してください。この書類と合わせて出発の 30 日以内の血液検査を出発の 3 週間前までにご提出ください。
8. 上記書類をハワイ側に提出し、ハワイ側の医師がこれを確認し問題なければ、「最終確認書」をお送りします。

出発から透析までの流れ

出発準備

1. 透析費用の保険還付書類をご準備ください。
ハワイで受けた透析治療費は戻ります。詳細は「健康保険・海外療養費 & 高額療養費支援制度について」をご確認ください。
2. 直近3回分の日本での透析記録をご準備ください。
日本の病院の書式で英訳は不要です。
3. 滞在中の経口薬（血圧、カリウム、リンの吸着剤等の薬）や麻酔パッチ、止血用具等が必要な場合はご準備ください。

ハワイ滞在中

4. ハワイに到着してチェックインを済ませましたら必ず、弊社までお電話ください。
お部屋にある電話からご連絡してください。その際に、滞在中の透析のスケジュールの確認を行います。
5. 透析当日は、弊社が手配したタクシーに乗車いただき透析センターまでお越しください。
タクシー代は弊社の費用に含まれていないので、運転手に直接お支払い願います。
6. 初日は透析センターの前で弊社の担当者がお迎えいたします。当日、持参が必要なものは、チェックリストをご確認ください。
7. 初日の透析完了後に滞在中の透析費用を透析センターにてお支払いください。現金又はクレジットカード（JCB, VISA, MASTERのみ）でのお支払いとなります。
8. 透析が完了しましたら、透析センターの受付の人にご滞在先に戻るためのタクシーの手配を依頼してください。



事前確認事項

申込時、必ず下記の項目に関してご理解頂いた上でお申込みください。

＜担当医師の許可＞

必ず日本の担当医師にご相談し、ハワイ旅行の許可を頂いてください。

ハワイの透析センターの仮予約が取れましたら日本の担当医師にお客様の透析医療情報提供（PATIENT INFORMATION SHEET）書類を英語で記入して頂く事になります。

＜予約時期＞

病院の予約は基本的に6ヶ月前から受付けとなります。それ以前の予約は弊社にご相談ください。また、透析当日の1ヶ月前までにお申し込みください。

＜旅行の予約＞

旅行を計画される際は、まずハワイ透析の予約（仮予約）が取れてから、旅行の最終予約をしてください。旅行関係のキャンセル料に関して弊社では責任を持つことはできません。

＜キャンセル料＞

弊社手数料に関するキャンセル料は、申込してから最終確認書が発行される前までにキャンセルされた場合は、\$200 となります。最終確認書が発行されてからキャンセルされた場合は、\$400 となります。

＜感染症がある方＞

感染症がある方（B型肝炎、結核の抗原をお持ちの患者様）は受け入れの制限がありますので、事前にご相談ください。（この事前報告で虚偽があると受け入れられません）

＜申込内容の変更＞

申込内容、医療情報等に変更があった場合は、必ず書面にて変更内容をご連絡ください。

＜透析スケジュール＞

ハワイと日本は時差が19時間ありますので「ハワイ旅行 透析スケジュール」をご参考にいただき、担当医師とご相談の上、透析日時を決めてください。当透析センターは日曜日休みです。

＜海外旅行保険＞

ハワイでの透析費用は海外旅行保険では支払われません。また、一般的に既往歴のある病気に対しても同じです。但し保険会社によっては既往症（＝持病）の悪化（例：腎不全や糖尿病に関する処置）などが一部対象になるオプションがありますので渡航前の加入をお勧めします。詳しくは各海外旅行保険会社にお問い合わせください。

透析に関する確認事項

必ず下記の項目に関して出発前にご確認ください。

透析センターでは食事は提供されません。また治療室内では感染予防対策の観点から基本的に飲食は禁止されておりますので、透析前後でのお食事をご計画ください。

透析に必要なための器具や消耗品や医薬品等（ペパリン・EPO 等）はすべてハワイのクリニックで準備されていますので日本から針（フィステル）・ダイアライザー（ハワイも使い回しはなく、1 回限りの使用です）等々を持参する必要はありません。

ハワイ滞在中の経口薬（常用内服薬）は必ず日本からお持ちください。ハワイの透析センターでは一切経口薬の処方はありません。内服薬の処方をご希望の場合は、別途ハワイの医療機関で医師に処方箋を依頼し、ドラッグストアにてご購入頂く事になります。（別途費用が必要）透析中の投与薬（エポ等）やペパリン等は透析センターで在庫している決められた（製品の）薬しか使うことができませんので、予めご了承ください。

透析センターの処置室には許可を受けた人しか入室できません。コロナウィルスの影響でご家族の方でも透析センター待合室で待機する事はできません。

ハワイにはカリウムの多いフルーツが多く、また飲み物のサイズが大きく、高カロリー（リンが多い）の食べ物が多いので、食事（量と水分コントロール）に十分ご注意ください。そのためにもリン、カリウムの吸着剤を日本から持参することをお勧めします。

穿刺針は日本と違い、18 ゲージのステンレス製が一番小さいサイズの針となります。またプラスチック（滞留）ニードルはハワイで利用されていません。

日本からのダイアライザー・穿刺針等の医療機器や透析中に投与する薬（Epo 等）は持込みできません。

日本の病院スタッフは穿刺に関して本人様の特徴（血管の位置＆太さ＆曲がり具合、穿刺位置、深さ等々）を熟知しておりますが、ハワイのスタッフは当日、はじめて穿刺する事になります。そこで事前に日本のスタッフに自分の穿刺に関する特徴をヒアリングしておき、これをハワイ側のスタッフに伝える事により、ハワイでの穿刺がスムーズにいきます。

透析費用の還付

＜透析費用の還付＞

ハワイで透析を受けた場合、上記透析費用は一旦“全額”自己負担にてお支払頂きますが、ご帰国後に各種健康保険（国保・社保）の“海外療育費支援制度”+“高額療養費支援制度”を利用する事により一定の基準で算定された金額が還付されます。

この制度を申請するにはハワイ側で下記書類の作成を透析センターで依頼してください。（月がまたぐ利用の場合はそれぞれの月毎に書類が必要になります。）

- 🌸 「診療内容明細書」 - 国保 or 社保の各々フォーマット
- 🌸 「領収明細書」 - 国保 or 社保の各々フォーマット
- 🌸 上記2つの書類の「和訳文」
- 🌸 透析クリニックで支払った費用の「領収書」の原本

一般的な「国民健康保険」or「社会保険」を利用されている患者様はカパフル透析センターに上記フォーマット書類がございます。ハワイ透析初日に透析センターの担当スタッフに保険還付資料作成依頼を申し出てください。

※これ以外は特殊な保険還付申請の場合はハワイ透析初日にその書類を持参して担当スタッフに保険還付資料作成依頼をご依頼ください。

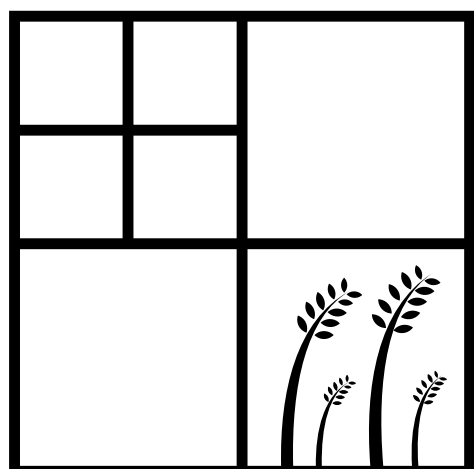
＜医療費控除＞

海外での医療費は確定申告で医療費控除の対象になります。（詳しくは税務署にご相談ください。）すなわちハワイで実際に支払った医療費から還付金で戻って来た金額を差し引いた金額がこれに当たります。

控除に関しては「治療費以外に看護師等に依頼した療養上の世話の対価」となり、弊社のサービスは治療上の世話ではないのでこれには当たりません。

ただし「病人の付添いを頼んだ場合の療養上の世話に対する対価に加えて、診療等を受けるための通院費、送迎費等」として透析センターまでのタクシー代が含まれます。

会社概要



Old Paddy Field LLC



Medical Support
Hawaii

Old Paddy Field LLC は 2021 年 1 月よりトラヘル・ハワイ 社から人工透析支援業務を引き継ぎ、メディカル・サポート・ハワイとして業務を開始いたしました。トラヘル・ハワイ社の想いやきめの細かいサービスを継承し、お客様が安心してハワイの滞在を楽しんでいただけるように努めてまいります。

会社名 Old Paddy Field LLC (メディカル・サポート・ハワイ)
住所 4348 Waialae Ave. #223 Honolulu Hawaii 96816
創業 2020 年
代表 古田慈夢 (Jim Furuta)
電話 1-808-726-8172 (ハワイ)
メール info@medicalsupporthawaii.com



代表
古田慈夢 (Jim Furuta)



コーディネーター
古田浩水 (Hiromi Furuta)